

	<b>NPO 法人 京都観光文化を考える会</b> <b>都草だより</b>	第38号 発行人：小松香織 編集人：西野嘉一 発行所：京都市上京区 下立売通新町西入 京都府庁旧本館2階 電話：075-451-8146
---	---	--

## ■ 二本松学院の講師担当 6名リレー式の授業！ー



今年に入って早々、二本松学院系列の京都伝統工芸大学校と京都美術工芸大学の2校から民俗学授業のご依頼が舞い込みました。「京都の歴史と文化について理解を深め、制作活動に活かすことを目標として授業をお願いしたい」とのご要望に、都草としてお引き受けすることにしました。

日程から授業のカリキュラム作り、成績表の作成、合否の判定など何もかもが初めての経験でしたが、5月～8月まで両校でそれぞれ15回ずつの授業を総勢6名の都草会員が講義を行ないました。京都の歴史・史跡から始まり、祭、社寺、歳時記、俗諺・伝説、地名や町並、伝統文化にいたるまで盛りだくさんのテーマについて、講師が得意な分野をリレー式の授業で担当しました。

両校あわせて350名、1限目は京都伝統工芸大学校、2限目が隣の校舎の京都美術工芸大学へ移動しての連続講義でした。合計3時間の授業はまさに体力勝負。講師の皆様には大変なご負担を強いてしまいました。

園部駅前に建つ二本松学院は伝統産業・伝統工芸を学びたいという若者が集う学校で、仏像や木工芸の教室からは木の香りが漂い、屋外の作業場からは石造品を刻む軽快な音が構内に響き渡っています。陶芸の教室を覗けば、ロクロを回す生徒の表情は真剣そのもの……。学生さんから提出されたレポートをみると、これからの京都文化を支えていく若者達になにかしら心に残るものをお伝えする事が出来たようです。

講師の皆様、素晴らしい授業をして頂き誠にありがとうございました。(副理事長 松枝 しげ美)

## ■ 大船鉾ボランティア奮闘記ー



平成26年に150年ぶりに巡行が復興した大船鉾は、今年念願の龍頭が新調され、違った意味での新たなスタートを切る年になりました。宵山が土曜日に重なったことで、3年前の巡行復活の時と変わらない人出が予想されました。昨年は梯子から直接鉾に上っての拝観でしたが、今年は町会所の2階から鉾へ渡るようになり、そのため私たちのボランティア活動も違った対応が必要になりました。

私たちの活動は20日の午後6時30分から24日の巡行の日までの5日間で、天候に恵まれ予想どおり次第に観客は増加しメンバーはフル活動。中でも下足担当者は、長蛇の列を成した拝観者に対応するため、暑く風の通らない町会所の中、中腰の姿勢を続けることになり、学生ボランティアの中には気分を悪くする者も出てしまいました。当初、考えていた役割分担を小刻みなローテーションへ組み替えるなど大幅な変更をして対応しなければならなくなりました。都草の会員、会員の紹介でお手伝い頂いたご家族や友人などの方々、そして、学生ボランティアが一つになって頑張ってくれたお陰で、大きなトラブルもなく無事巡行の日を迎える事ができました。これも私達ボランティアの頑張りの成果と言って過言ではありません。皆さんに感謝申し上げるとともに、やり遂げることができた充実感を分かち合いたいと思います。

ありがとうございました。(理事 伊藤 義男)

## ◆◇ 「岡崎・市電コンシェルジュ」の業務について ◇◆



去年の12月に岡崎公園内に市電車両を利用した案内所が設置されました。この市電に引きつけられて訪れる人もあり「懐かしいですね」と、好評です。9時30分から18時まで、早出と遅出のシフトを組んだ2名が協力して業務を担当しています。観光案内としては、目的地へのアクセスや食事処などのアドバイスをすることや、名所・旧跡の歴史や季節の行事について説明することです。市電内に置かれているチラシ・パンフレット等展示物の確認と準備、本日のイベントの掲示をして情報発信しています。また、時に岡崎エリアで実施されるクイズラリーの景品交換所にもなります。施設管理業務として、出入り口の開閉や案内板の設置・回収、パソコンで入場者数・案内者数、案内事項等を業務日誌に入力しメールに添付して報告します。(会員 中村 弘實)

## ◆◇ 「井筒八ッ橋 京都まちなか案内所」を担当して ◇◆

6月初旬に「まちなか案内所」のガイドのお仕事を始めて約3か月になります。スタッフや諸先輩の方々にご指導いただき、お陰様で楽しくお勤めしております。また、お客様からも教えて頂くことも多々あり、京生まれ、京育ちの私ですが、昔の京都の町中と現在の町中とは、随分変容している事をつくづく感じる今日この頃でございます……。

お客様があまりご存じない、昔から在る細い路地の奥のはんなりした京町家のお店などをご紹介しますと、とっても喜んでいただけます。これからも、自分の足で歩いてもっと勉強して、お客様のニーズにお応え出来るように、ご案内役のプロフェッショナルを目指したいと思います。(会員 市村 ふみ子)



## ◆◇ 四条河原町・歩くまちなかウォーキングツアー担当者から ◇◆

毎週日曜日に、四条河原町(交通・観光案内所)を起点にした2時間のウォーキングツアーのガイドをしています。コースは週替りで、いずれも京都に秘められた歴史や伝説が一杯です。

「歴史を秘める街 寺町界わいから、三条通りの洋館を巡る」、「祇園を抜けて、八坂塔の見える径を歩く」、「明治維新の舞台、高瀬川沿いを歩く」、「白川の清流を巡って、東山ふもとの社寺を訪ねる」、「河原町界わいの伝説を訪ねて」の5コースです。

その中でも特にお客様が興味を持たれる所は次の通りです。

- (1) 病気の母親に蛸を食べさせようとした孝行息子(僧) — 蛸薬師堂(永福寺)
- (2) 平安時代の情熱的な恋愛歌人・和泉式部 — 誠心院&誓願寺
- (3) 当時の場所とは異なるものの「変」を伝える織田信長の公廟 — 本能寺
- (4) 「見ざる」「言わざる」「聞かざる」のくくり猿 — 八坂の庚申堂
- (5) 坂本龍馬ゆかりの史跡 — 近江屋跡・岬神社(土佐藩邸跡)・酔屋
- (6) 悲劇の関白・豊臣秀次及び妻妾を弔う寺 — 瑞泉寺
- (7) 法然・親鸞両上人の専修念仏根源地(吉水草庵) — 慈円山安養寺

その他、今も町名として残る弁慶石町の「弁慶石」等も有り、興味は尽きません。現代に生きる我々にも、多くの示唆や教訓を与えてくれる気がします。

京都はやっぱり奥深い!!

只今、ガイド希望者募集中です。(会員 中島 孝和)

